

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2013年11月1日

122号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

南北米福地開発協会アメリカ支部集会



南北米福地開発協会アメリカ支部集会
九月二八日、アメリカ、ニューヨークにおいて、南北米福地開発協会 松田事務局長の招待で今年、日本で企画した国際協力青年奉仕隊の活動をアメリカ在住の会員の方と賛同者を集めて、報告会を計画し、教授も参加し、講演を聞いた後、来年のパラグアイへの奉仕隊の責任者である柴沼邦彦氏が講演をしました。参加者の中にはアメリカの大学で教鞭をとっている教員の方と賛同者を集めて、報告会を計画し、青年奉仕隊には大学の学生も是非、参加させたいので具体的に検討したいと話をしておりました。

また、アメリカで会社を経営する社長は今後、できる限り支援をしていきたい旨を表明してくれました。アメリカは奉仕に対しては、日本以上に活発で、今後、ださるよう働きかけたところ、即座に八名の方が会員となつてくださいました。その後も講演に参加した方がから八名郵送で入会願書が送られて來たとのことです。会員は今のところ、日本人が中心になつていて、日本からだけではなく、アメリカからも南米にできるだけの支援を進めていくため、南北米の会員となつてくださるよう働きかけたところ、即座に八名の方が会員となつてくださいました。その後も講演に参加した方が今後、アメリカでの活動を活発化するため、英文の案内書や啓蒙のための日本版の映像を英語のナレーションのDVDを作ることをアメリカ支部で決定しました。

現在、ニューヨーク、ニュージャージーが中心ですがロセアンゼルスでも会員になりたいメールが来ていて、南北米のパラグアイでの活動に心で、南北米の環境保護と貧困対策はが広がりつつあります。先進国の支援が必要です。それでアメリカでの拡大に期待している会員の拡大に期待していきます。

ブラジルとパラグアイで活躍する韓国の青年リーダー、レダ訪問。

日本とパラグアイの青年が一緒に活動し、今年はブラジルの青年とともにパラグアイの過疎地の村での奉仕をしました。そのことに感銘した現地在住の韓国の青年指導者が支援を申し出、現地の視察をしました。

レダの中田所長は現場を案内しながら詳しくプロジェクトの現状を報告し、プロジェクトの推進のため、必要な支援の要請をしました。レダ訪問をしていた飯野会長も合流し、経済的な支援だけでなく、人的な支援の重要性を強調し、二人の韓国の青年リーダーも努力することを約束していました。

主に、今までは日米の南北米福地開発協会からの人的、経済的支援で行つてきましたが、ここ十四年の実績が日米のみならず韓国の方が支援に具体的に參與してくれるようになってきました。

また、今後、ブラジル、パラグアイに移住して活躍する日本人の方やパラグアイで活躍するアメリカ、ドイツ、スペイン等のどのからの協力も得られるようアスンシヨン事務局を担当する中井氏が各機関にコンタクトをとることになっています。



第一船着場付近の土手のかぼちゃも、よく育っている。

サボテンの花
(夜に咲く月下美人)

野生の猪も赤ちゃんから育てれば、人になつき、犬の友達です。

飯野南北米福地開発協会会長夫妻、8か月ぶりレダ訪問



写真左：レダ滞在者と記念撮影の飯野夫妻
写真上：サッカー熱の高い労働者一人一人に、日本からのお土産として、欧州プロサッカー選手のユニホーム上下を贈呈、大変喜ばれました。



タロイモ水耕栽培の説明を聞く

ピーマンやシシトウの収穫

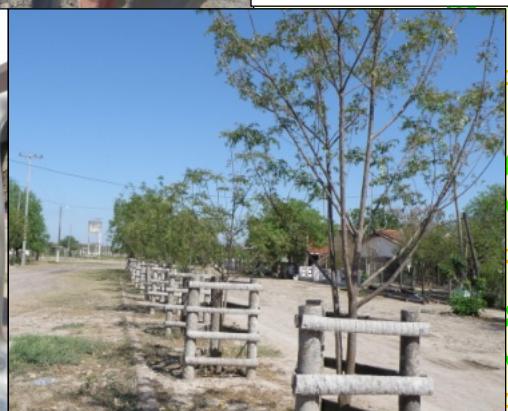
激辛の鷹の爪



ディアナとバイ
アネグラ訪問

左：青年奉仕隊
が植樹したニ
ムの街路樹

右：ディアナの
校長（中央）と
歓談



バイアネグラ海軍基地の鐘

甘える海軍の犬

バイアネグラに植樹した街路樹

九月十八日、朝副大統領府の秘書から

連絡が入り、十一時に副大統領官邸に来てほしいとのことで急ぎ準備して、財団理事のオットー・マー氏とドクター・ハコブに連絡を取り会見に行きました。

受付で待っているとき、故弁護士ワインさんの夫人マリア・アントニヤさんも入ってきて、彼女も一緒に会見に臨みました。副大統領は既にレダのことについては良く知っているようでした。私の方から今回の青年奉仕隊の報告とレダのプロジェクトに関して写真を見せながら説明しました。カルテス大統領も政策の一つに貧困撲滅を掲げていて、その中にもインディヘナへの対策も重要な課題であるので、政府と色々協力できたら良いといつていきました。そして我々がその地域に実際に住んで活動していることをとても賞賛してくれました。

今まで色々な団体・政府が援助してきたが、物や金を送るだけで、写真を撮って、それで終わっていること。継続していくこと。更にはそのように送られてきたものが本当にインディヘナの手にまで届かずにどこかで消えていふことなどを嘆いていました。是非一度レダの地に来てくださいと招待しました。副大統領も今すぐではないけれど一度は行きたいと言つてくれました。そのときには農牧大臣とインディの会長も連れて行きたいと言つていました。

最後に今回青年奉仕隊に会えなかつたので、彼らに何かメッセージをと、お願ひしました。副大統領の色紙の内容..皆さんの訪問に対して、そして皆さんのがパラグアイの地で発展させている仕事に対しても本当に感謝しています。本当に感謝しています。ありがとうございます。ファン・アフアラ副大統領

パラグアイ副大統領が中井アスンション事務局長と南北米福地開発財団の理事たちと交流の場を持った。（2013年9月18日）



地球家族として 自然を守りましょう

南北米福地開発協会

会員の募集中

南米、パラグアイ・パンタナール地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会費は月五〇〇円、毎月、パンタナール通信を送ります。

また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

南北米福地開発協会事務局

〒213-0001
神奈川県川崎市高津区
溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話 044-829-2821
Fax 044-829-2820

会費納入 郵便口座
10180-77680471

E-MAIL : office@asd-nsa.jp
ホームページ : <http://www.asd-nsa.jp>